

2019
6.16
(日)

横須賀上映

第28回
有料上映会

障がい者支援
チャリティ上映会

監督

伊勢真一 氏のトーク

ヒューマンドキュメンタリー映画
「やさしくなあに」 上映
110分

奈緒ちゃんに逢いに来ませんか？

やさしくなあに

－奈緒ちゃんと家族の35年－



障がいのある奈緒ちゃんと家族の日々。
カメラは35年間回りつづけた。

そばにいるときも、いないときも、
家族の物語はつづいています。

制作：いせフィルム <https://www.isefilm.com>

2019年 6月 16日(日) 13:30 ~ (開場 13:00)

横須賀市 文化会館 大ホール

京急横須賀中央駅下車 徒歩 10 分
横須賀市深田台 50 ☎046-823-2951

チケット料金 1,000円 (前売り券 800円)

チケット料金の内 100円を、障がい者団体の活動に役立てます。

チケット販売：横須賀市文化会館

品川文化堂（大滝町）

井出新聞店（衣笠栄町）

アナザワフォト（追浜駅前）

郵便振替：口座番号 00230-4-09440 口座名称 16ミリ試写室

問合せ：☎ 090-2901-0862 (松澤)

☎ 046-823-2951

☎ 046-823-1848

☎ 046-851-0235

☎ 046-865-9963

主催：16ミリ試写室

<http://y16miri.com>

共催：横須賀市教育委員会

後援：横須賀市（公財）横須賀市生涯学習財團

（福）横須賀市社会福祉協議会

横須賀市障害関係施設協議会

横須賀・三浦作業所連絡会

奈緒ちゃんに逢いに来ませんか？



やさしくなあに

～奈緒ちゃんと家族の35年～

『やさしくなあに』は、
家族の映画です。

演出：伊勢 真一

「この子は長く生きられない…」医者にそう言われた、と姉が長女・奈緒ちゃんのことを私に話してくれたのは、奈緒ちゃんが2才か3才の頃だったか…。てんかんと知的な障がいを合わせもっていたのです。無力だった私は何もしてあげられませんでした。

自分に出来ることは映画を創ることだ。家族のアルバムのような記録を撮って、お母さんとお父さんと弟の記一と、奈緒ちゃん、一家四人にだけ観てもらう、そんなショートフィルムを創つてみようと思い立ったのは、奈緒ちゃんが小学校に上がって間もなくのこと。8才の正月にカメラは回り始めました。

撮るべきものは“元気な奈緒ちゃん”。奈緒ちゃんがそこに居て、笑っているだけでいい。生きているだけでいい…。ただただ奈緒ちゃんを撮

るという素朴な記録、テーマなんか知ったことか。奈緒ちゃんに逢いに、スタッフと通い続けました。

奈緒ちゃんが育まれ、奈緒ちゃんが育んだ、「しあわせ」。気がついたら12年の歳月が流れ、完成した映画『奈緒ちゃん』は、思ってもいらないような評価を受け、全国各地で自主上映の輪が拡がって行つたのです。

しかし、“元気な奈緒ちゃんを撮る”という課題は、まだ終わりませんでした。何故なら、奈緒ちゃんはどんどん元気になり、奈緒ちゃんを育てながらお母さんもまた、元気になっていったからです。お母さんは、障がいのある子どもをもつ仲間たちのリーダーとして、「びぐれっと」と呼ばれる地域作業所を立ち上げ、地域の中で、奈緒ちゃんたちを育てる活動に取り組みます。

そして奈緒ちゃんは、やがて「びぐれっと」が作ったグループホームで暮らし始め自立します。私はその過程を映画『奈緒ちゃん』の続編として『びぐれっと』『ありがとう』という二本

のドキュメンタリー映画にまとめました。それでも撮影を止めませんでした。“元気な奈緒ちゃんを撮る”という約束を果たすために。

そして気がついたら、撮影を始めてから35年の歳月が積み重ねられていたのです。

「奈緒ちゃんが生まれたから、生きたから、たくさんのいのちが生きた。」

『やさしくなあに』は、家族の映画です。

障がいをもちながらも元気に生きる奈緒ちゃんを撮りつづけて35年、そこに写っていたのは“家族”でした。ひたむきに生きる奈緒ちゃん一家の暮らしの日々…。映画を観た人はきっと、自分自身の家族との日々を思い返すでしょう。

主役は姪っ子の奈緒ちゃんとその家族。テーマ曲「Home, Sweet Home」を歌うのは姉、西村信子、チラシの絵は亡き母、木島浜子、亡き父、伊勢長之助（記録映画編集者）と関わりがあるスタッフもいます。題字は伊勢真一…。

この映画は、私にとっても家族の映画です。

出 演 —— 西村 奈緒 西村 記一 西村 信子
西村 大乗 内田 三郎 プーちゃん
「びぐれっと」のみんな
撮 影 —— 石倉 隆二 瀬川 順一 宮田 八郎
世良 隆浩 田辺 司 伊勢 朋矢
照 明 —— 篠輪 栄一 工藤 和雄
音響構成 —— 米山 靖
録 音 —— 渡辺 文彦 永峯 康弘 井上 久美子
編 集 —— 尾尻 弘一
テーマ曲 —— 「Home, Sweet Home」
演奏・歌 —— 西村 信子
宣伝デザイン —— 森岡 寛貴 遠藤 郁美
上映デスク —— 鶴見 真弓 今井 亜矢子 増馬 則子
相原 余至子 東 志津

制作協力 —— 奈緒ちゃん一家 社会福祉法人「びぐれっと」
グループホーム「みなみ風」
ヒボコミュニケーションズ 一隅社
クロスフィット ハチプロダクション
ジョングラフィック
野口 香織 横内 丙午 岩永 正敏 守内 尚子
前田 祥丈 高内 優 大場 健二 篠塚 昌述
助川 満 飯田 光代 藤崎 和喜
上映協力 —— MOCプロジェクト
特別協力 —— 伊勢 長之助 木島 浜子
瀬川 浩 柳田 義和 瀬川 龍
大槻 秀子 木村 勝英 熱海 鋼一
企画・製作 —— いせフィルム
演 出 —— 伊勢 真一

伊勢 真一 (いせ しんいち)

ドキュメンタリー映像作家。1949年東京都生まれ。奈緒ちゃんの叔父にあたる。長編ドキュメンタリー映画のデビュー作は、8才の奈緒ちゃんとその家族に寄り添い12年間を記録した映画『奈緒ちゃん』(1995年)。この作品で、毎日映画コンクール記録映画賞グランプリ他多数を受賞。その後も長きにわたり撮影を続け“奈緒ちゃんシリーズ”として『びぐれっと』(2002年)、『ありがとう』(2006年)を製作。2017年の本作はシリーズ第4弾となる。他にもヒューマンドキュメンタリーの作品を多数製作。

お問合せ

いせフィルム www.isefilm.com

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-3-7 青山N-ブリックビル3階

TEL:03-3406-9455 FAX:03-3406-9460 E-mail:ise-film@rio.odn.ne.jp



16ミリ試写室は1977年に発足。「どこでも素敵な映画館」を合言葉に、県や市の視聴覚ライブラリー所有の16ミリフィルムや映写機を活用し、視聴覚教育活動を続ける女性のNPO団体です。横須賀市内の図書館やコミセンなどの社会教育施設、老人ホーム、障がい者施設、地域の集会室などで年間約100回の映画会を開催しています。さらに、「心に響くメッセージを廉价で届ける」を目的に、ドキュメンタリー映画を中心に有料上映会も開催しています。

2013年春 地域交流支援活動奉仕団体として緑綬褒章を受章。